

牛山さん 音楽仲間が追悼

葬儀・告別式 250人超が参列

福祉施設への慰問演奏やオーケストラ活動で松本の音楽文化に貢献し、3日に66歳で亡くなった松本市笹部2のバイオリン講師・牛山正博さんの葬儀・告別式が7日、松本市市場のみず野法祥苑で営まれた。音楽関係者ら250人以上が参列し、故人の多彩な音楽活動をしのいだ。

安曇野市穂高の古幡開太郎さん(67)が牛山さんの明るく、涙ながらに追悼した。

ア公演も年末まで続け、オーケストラ活動にも熱心で、平成元年から20年余、松本室内合奏団の団長を務めた。母校の松本深志高校音楽部のOBらでつくる志音会オーケストラでも活躍した。「モーツァルト交響曲全曲演奏会」の発起人の一人として携わり、昨年11月に全52曲の演奏を達成した。

葬儀・告別式では、志音会オーケストラ代表の等々力康友さん(73)が「東京都」と、モーツァルト交響曲・全曲演奏会実行委員長

を継続し、ボランティア



平成29年6月に2000回の公演で演奏する牛山さん(左端)

がらに弔辞を述べた。喪主の長男・孝介さん(31)は「父は音楽とお酒、大勢の方が集まるにぎやかなことが大好きだった。多くの方に囲まれ、自宅で見ることができたことに感謝したい」と謝辞を述べた。

在宅医療の主治医として牛山さんを見守った志音会会長の杉山敦さん(64)は「本当につらく悲しい。音楽を愛した牛山さんの思いを受け継いでいきたい」と話していた。(田子元気)